



おさかな瓦版 No. 104

2021.11



ホンダワラ類

かいそう
海藻シリーズ

だい
第4回

ふーちゃんの特ピックス

とし と ざかな はなし
年取り魚の話
おお か
大みそ日のごちそう



ホンダワラ類

～海の多様性をつくる～



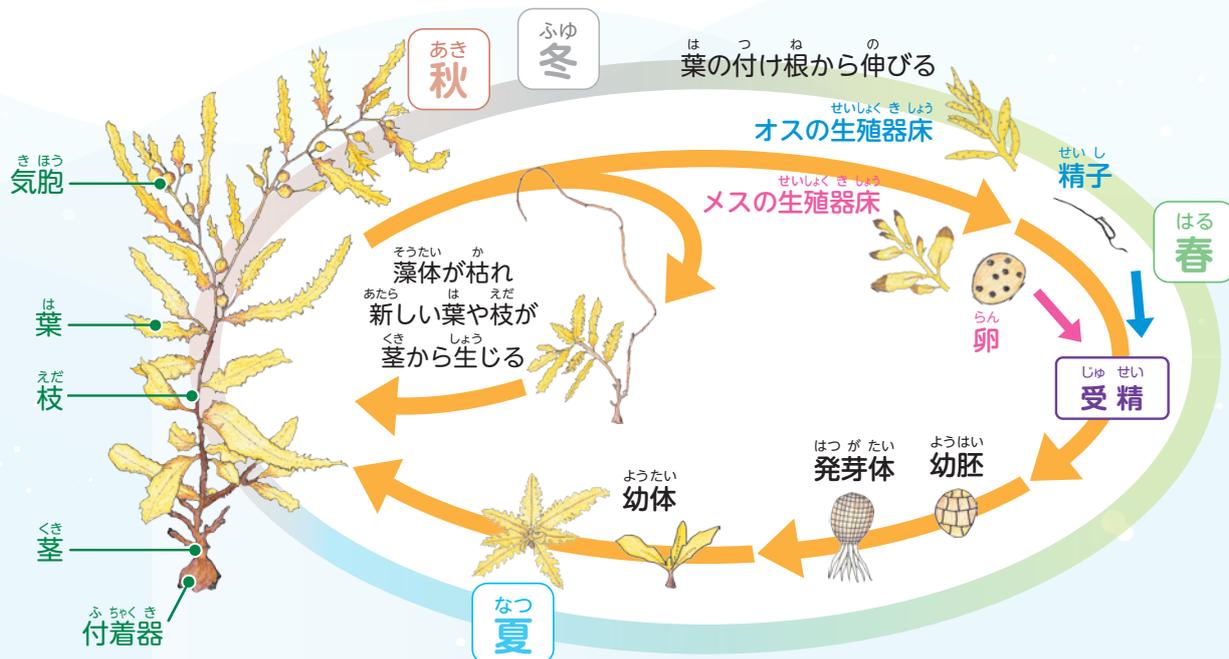
1 海中のホンダワラ (ノコギリモク)

ホンダワラは褐藻という茶色い海藻の仲間です (1)。ホンダワラは世界でおよそ360種が知られ、海藻の中で最も種類の多いグループです。日本では北海道から沖縄までの広い範囲に60種以上が分布しています。皆さんが食べているヒジキもホンダワラの仲間です。最近ではアカモクも各地で利用され、食用としての注目も高まっています。ホンダワラの名前は、～モクと最後に「モク」が付くものが多く、日本では昔から水中の植物全般を「モク」と呼びます。名前にモクが付くホンダワラは、それだけ人々の生活に身近であったことがわかります。

ホンダワラの形はワカメやコンブと違い、葉や枝などの形がはっきりしていて陸上の植物にとてもよく似ています(★1)。また気胞と呼ばれる空気の入った風船のような器官が付いているのも大きな

特徴です。しかし陸上の植物の根・茎・葉のような機能的な役割分担はありません。根に見える付着器は海底の岩にくっつく役割があり、必要な栄養は葉や枝などの体全体で海から吸収します。

多くのホンダワラにはメスとオスがあり、春になると葉の付け根から生殖器床と呼ばれるメス・オスそれぞれの生殖器官が伸びてきます。メスからは卵が、オスからは精子が放出され、受精すると幼胚から発芽体となりホンダワラの赤ちゃんになります。夏の暑い時期は幼体と呼ばれる小さな体で過ごし、水温が下がり始める秋から急速に成長します。また春を過ぎると、葉や枝は1年で枯れてしまうのですが、付着器や茎からは年を越えて、次の春に向けた新たな葉や枝が再び伸びてきます(★1)。このように何度も年を越えて、多くのホンダワラは



★1 ホンダワラの形と成長の様子



2 ホンダワラが作る海の森 (アカモク)



3 ホンダワラの森に集まる魚たち

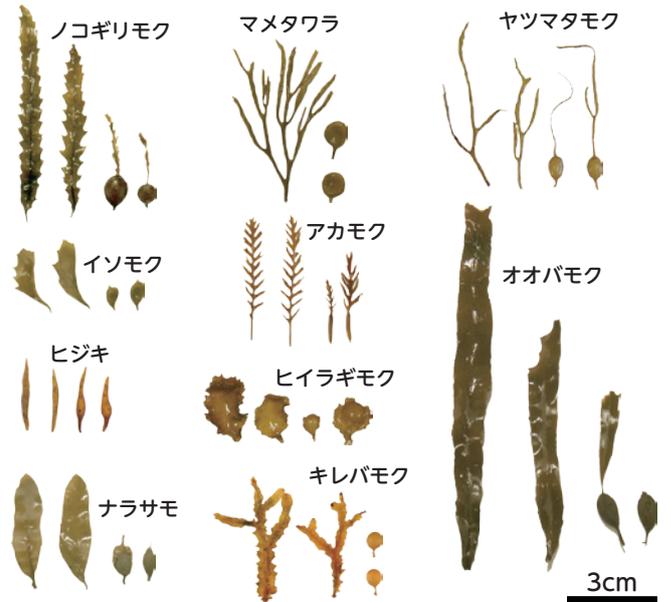


4 リボンのようにねじれた枝 (ヒラネジモク)

5年ほどの寿命があるとされています。

ホンダワラなどの大形の海藻が集まって生えている場所を藻場と呼び、海の森ともいわれます(2)。藻場は二酸化炭素を吸収し酸素を作ります。そして小さな甲殻類の仲間がホンダワラの葉を隠れ家としてすみ、それを餌とする魚が集まり、またその魚を餌とする大きな魚が来ます。このようにホンダワラが作る藻場はたくさんの生きものが集まり、海の多様性をつくり出す場となります(3)。

ホンダワラはその形の多様さに驚かされます。葉や空気の入った気胞も、まん丸のものから細長いものもあります(★2)。リボンのようにねじれた枝をもつものもあります(4)。今度海に行ったら、海岸沿いを探してみてください。ぷかぷかと海面を漂ってやってきたホンダワラが打ち上がっている



★2 ホンダワラの葉や気胞の形

かもしれません。丸い風船のような気胞が目印です。



しまぶくろ ひろし 島袋 寛盛



あんじのワンポイントアドバイス

あんじ：ありとあらゆることを知っているナズのさかな仙人です

なぜ空気の玉(気胞)が付いているの？

ホンダワラも陸上の植物と同じように光合成を行うためには太陽の光が必要なのじゃ。海の中で気胞(➡)の浮力※を使って体を立ち上げることで、よりたくさんの太陽の光を浴びることができるぞ。また気胞があることで、ちぎれた枝は“流れ藻”として海面を浮いて旅をするんじゃ。沖縄県の海藻が千葉県の海岸に打ち上がることもあるぞ。



風船のように空気が入った気胞

※浮力：水中などで上へ押し上げようとする力



ふーちゃんのトピックス
Fuchan's Topics

とし と ざかな はなし
年取り魚の話
おお か
大みそ日のごちそう



とし と ざかな し
年取り魚って知っていますか？
おお か しんねん むか た
大みそ日に新年を迎えるにあたって食べる
ざかな
魚のことで。
とし こし ざかな しょうがつ およ
年越魚、正月魚とも呼ばれています。
ひがし に ほん おも にし に ほん おも
東日本では主に「サケ」、西日本では主に
「ブリ」が用いられます。



※イメージ

ブリ



ひがし に ほん
東日本

サケ



にし に ほん
西日本



※イメージ

サケやブリのほかにも
たら(青森)、こもちの
ナメタガレイ(三陸)を
とし と ざかな た
年取り魚として食べる
ち ほう
地方もあるわよ。



ツイッター はじ
Twitter 始めました
https://twitter.com/fra_go_jp

フェイスブック
Facebook、
ユーチューブ
YouTubeともども
よろしく
ねが
お願いします。



FRA
水産研究・教育機構 FRA
@fra_go_jp
フォロー

国立研究開発法人水産研究・教育機構は、平成28年4月1日に発足しました。
当機構は、水産業が抱える課題を解決するため、水産分野における研究開発と人材育成を推進し、その成果を拡大化し社会への還元を進めることで、我が国の水産業を活性化させることを目指しています。

SNSもチェックしてみてね



Twitter ▶ https://twitter.com/fra_go_jp
Facebook ▶ <https://www.facebook.com/fra.go.jp/>
YouTube ▶ <https://www.youtube.com/channel/UC1ITVadqC6P9vmHAUieAN9Q>



ふーちゃん と



ふっくん：あんじい仙人のもとで修行している研究員です

おさかな瓦版 NO.104 (2021年11月発行)

編集・発行：国立研究開発法人 水産研究・教育機構

質問の送り先・お問い合わせ先：広報課

〒221-8529 横浜市神奈川区新浦島町一丁目1番地25

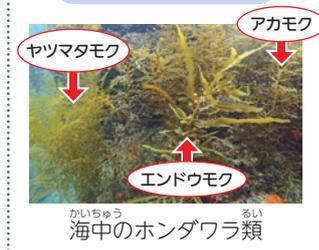
テクノウェイブ100 6階

TEL.045-277-0136 (広報課) FAX.045-277-0015

ウェブサイト <http://www.fra.affrc.go.jp/>

すいさんどうぶつ かいそう
さかなやエビ、カニなどの水産動物や海藻の
ことわからないことがあったら、広報課
までハガキを送ってね。＜聞きたいことの内容＞、＜学年＞、＜住所＞、＜名前＞を忘れずに書いてね。ふっくんが「なんでもコーナー」でお答えします。

ひょうし しゃしん
表紙の写真



リサイクル適性 (A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。